

# 公民館講座特集

お問い合わせは、  
公民館 TEL 35-0700  
Fax 31-4998  
平成23年8月25日発行

## 9月からの秋の公民館講座などの情報誌 (講座特集号)

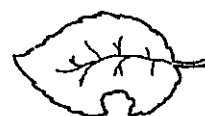
秋の公民館講座・セミナーなど、9月から12月に実施予定が決まっている公民館講座などのご案内です。音楽会などは現在調整中ですので、決まり次第、ご案内をさせていただきます。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

【秋の講座】	① 芝垣先生と行く「北欧への旅」	2
	② 阪神地域の近代を読み解く	2
	③ 健康ハイキングー紅葉の名所を訪ねて	3
	④ 親学講座ー親の教養・健康・ゆとり学	3
	⑤ 世界はニュースだけではわからない	4
	⑥ 歴史を探る講座ー大正15年を考える	4
	⑦ 田辺真人先生の「文化の歴史」講座	5
	⑧ 芦屋病院公開講座	5
	⑨ 芦屋大学公開講座「東日本大震災と阪神・淡路大震災」	6
【幼稚園へ出かける幼児教育講座】		6
【文化セミナー】	山歩きを楽しもう	7
【義援金チャリティー・公民館事業】	詩と演劇と音楽を楽しもう	7
【NHK公開セミナー】	細川家の至宝	8
【展覧会開催記念セミナー】	夢二とともに	8
【公民館・常設展示事業】	芦屋の100年	9

芦屋市立公民館 Tel 0797-35-0700、Fax 31-4998

〒659-0068 芦屋市業平町 8-24



# 芝垣哲夫先生と行く 森と湖の国「北欧への旅」

Republiken Finland  
Kingdom of Denmark  
Kingdom of Sweden

美しき森と湖の国、北欧。もし、あなたが北欧のような国で育ったなら、いったいどのような考えを持つ人間になったでしょうか。人と人が押し合いへし合いする人口密度の高い日本人にとって、北欧はあまりにもものびのびとした環境の国です。美しい北欧の景色をお楽しみください。

時間 午前10時～11時30分 定員 60人 受講料等 1,300円(3回分で)

回	月日(曜)	会場	内容	講師
1	9月10日(土)	芦屋市民センター 401室	森と湖の国「フィンランド」 —じつは、日本人とフィンランド人って 親戚なんですか！	アメリカン大学 大学院客員教授 哲学博士 芝垣 哲夫氏
2	9月17日(土)		「デンマーク」と英国王室との関係	
3	9月24日(土)		Tシャツに自転車で買い物をする 「スウェーデン」の王様！	

申し込み方法 ①講座名、②住所、③氏名、④電話番号を記入のうえ、はがきかファクスで8月30日(火)までに公民館へ(応募多数のときは市民の方を優先のうえ抽選)

# 阪神地域の近代を読み解く - 芦屋周辺の100年



今年、芦屋市は、芦屋国際文化住宅都市建設法が制定されてから50年の節目の年を迎えました。そこで、今回の講座では、「芦屋周辺の100年」を振り返り、阪神地域の近代について学びます。

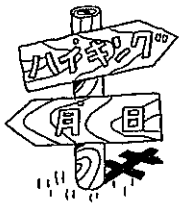
時間 午後1時30分～3時 定員 80人 受講料 2,400円(9回分で)

回	月日(曜)	場所	内容	講師
1	9月16日(金)	市民センター 401室	地域歴史遺産の可能性 —阪神・淡路大震災の保全歴史資料から考える	神戸大学文学部 教授 奥村 弘 氏
2	9月30日(金)		住宅都市・芦屋の軌跡 —発掘資料から見る芦屋の近代化	芦屋市教育委員会 学芸員 竹村忠洋 氏 学芸員 坂田典彦 氏
3	10月7日(金)		阪神間の近代建築	神戸大学工学部 教授 足立 裕司氏
4	10月14日(金)		打出焼のはじまり	神戸深江生活文化史料館 研究員 藤川祐作氏
5	10月20日(木)		阪神間の鉄軌道と芦屋	奈良大学文学部 准教授 三木理史 氏
6	10月28日(金)		近代の尼崎 —工業都市と田園都市	尼崎市立文化財収蔵 庫学芸員 桃谷和則氏
7	11月11日(金)		阪神間の空襲	神戸大学 研究員 佐々木 和子 氏
8	11月18日(金)		田園都市の夢 —西宮の近代化	西宮市教育委員会 合田 茂伸 氏
9	11月25日(金)		阪神考古学 100年発見史 —夢を与えたヒトとモノ	芦屋市教育委員会 学芸員 森岡秀人 氏 学芸員 白谷朋世 氏

申し込み方法 講座名・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがきかファクスで8月30日(火)までに公民館へ。(応募多数のときは市民の方を優先のうえ抽選)

# 健康ハイキング (やや中級の方向け)

## —紅葉の名所を訪ねて—



自然に触れながら、健康作り、ハイキングの友達作りなどを目指して、毎回8~11 km程度、梅と桜などのすてきなコースをゆっくりと歩きながら、ハイキングの友だちを作りませんか。

時間 午前8時30分~午後5時頃中心 定員 30人 受講料等 3,000円(10回分)・要交通費

回	月日(曜)	内容	回	月日(曜)	内容
1	9月27日(火)	芦有ゲートから奥座敷、保久良神社へ	6	11月1日(火)	東お多福山登山口から六甲最高峰、有馬瑞宝寺公園へ
2	10月4日(火)	奈良、山辺の道へ	7	11月8日(火)	須磨アルプスから須磨離宮公園、須磨寺へ
3	10月11日(火)	初谷溪谷から妙見山へ	8	11月15日(火)	紅葉の嵐山から小倉山、清滝、嵯峨野へ
4	10月18日(火)	六甲山牧場から穂高湖、摩耶山へ	9	11月22日(火)	紅葉の勝尾寺から箕面大滝へ
5	10月25日(火)	バスツアー スキの曾爾高原へ	10	11月29日(火)	紅葉の南禅寺から哲学の道、真如堂へ

申し込み方法 講座名・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで9月12日(月)までに公民館へ。(応募多数のときは市民の方を優先のうえ抽選)

# 親学講座 —親の教養・健康・ゆとり学



PTA 協議会の幹事さんたちに、皆さんの要望を聞いて頂き、今年は、子育てを少し離れ、お母さんやお父さんがゆったり自分磨きのできる講座にしました。1回ずつの申込みも可能にしました。

時間 午前10時~11時30分 定員 60人 受講料 1,200円(P.T.A.会員は無料)  
託児あり(要申し込み・1回400円)

回	日時(曜)	会場	内容	講師
1	10月5日(水)	市民センター 116多目的室	命と心を大切に育てる子どもの育成 —敬語・とりわけ丁寧語が使えることを大切に	京都女子大学附属小学校長 吉永幸司 氏
2	10月26日(水)		美と健康の発酵食品の魅力について	武庫川女子大学食物栄養学科 教授 松井徳光 氏
3	11月9日(水)		暮らしですぐ役立つアロマセラピー —がんばるママのご褒美講座	日本アロマ環境協会アロマセラピー —アドバイザー 小野光世 氏

申し込み方法 一般の方は、講座名・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで9月22日(木)までに公民館へ。P.T.A.会員の方は、9月9日(金)までに各担任の先生に提出。

## 世界はニュースだけではわからない 〈時事経済解説〉



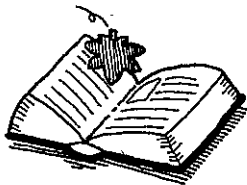
政治・経済・社会問題から、アップ・ツー・デートなテーマを選択し、現象面だけの解説に終始せず、ニュースだけではわからない本質に迫ります。

時間 午後2時～3時30分 定員 100人 受講料 2,500円(6回分)

回	月日(曜)	場所	内容	講師
1	10月8日(土)	市民センター 401室	〈仮題〉グローバル時代の大災害 —東日本大震災の世界に与えた 教訓と課題	大阪商業大学総合経営 学部 教授 安室 憲一氏
2	11月19日(土)		2回目以降のテーマは、直前の回に 次回のテーマをご連絡します。	研究者、ジャーナリスト などの講師を予定
3	12月17日(土)			
4	1月21日(土)			
5	2月18日(土)			
6	3月17日(土)			

申し込み方法 講座名・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで9月26日(月)までに公民館へ。(応募多数のときは市民の方を優先のうえ抽選)

## 歴史を探る Part14 —大正15年を考える



今回の講座では、2011年(大正100年)、2012年(大正100周年)にちなんで、数々の残された史実の資料を配布し、それをもとに歴史の足跡を辿りながら、美しくはかない時代「大正15年」を考えたいと思います。

時間 午前10時～11時30分 定員 80人 受講料等 2,500円(6回分)

回	月日(曜)	会場	内容	講師
1	10月7日(金)	市民センター 401室	第一次世界大戦と日本人	城郭・歴史研究家 菅原 美文氏
2	11月4日(金)		大正天皇妃・貞明皇后の愛と生涯	
3	12月9日(金)		大正の新しい息吹と芸術・文化	
4	1月13日(金)		原敬と政党政治	
5	2月10日(金)		大正ロマン…竹久夢二の芸術と人生	
6	3月9日(金)		島村抱月と松井須磨子…愛・芸術・死	

申し込み方法 講座名・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで9月26日(月)までに公民館へ。(応募多数のときは市民の方を優先のうえ抽選)。

## 田辺真人先生の「文化の歴史」講座 Part 5



今、文化の大切さが言われています。歴史学・地域学・民俗学・文化を生かした街づくり・歴史を生かした観光振興など、田辺先生とおきの「文化の歴史」を学びませんか。

時間 午前10時30分～12時 定員 60人 受講料 2,500円(6回分で)

回	月日(曜)	場所	内容	講師
1	10月12日(水)	市民センター 301室	鉄道建設と阪神地域	園田学園女子大学 名誉教授 田辺 真人氏
2	11月30日(水)		ニュージーランドの社会と文化 -国交60年に寄せて	
3	12月14日(水)		阪神地域は「源氏」のふるさと	
4	1月11日(水)		平清盛と兵庫地域	
5	2月8日(水)		5回目以下は、楽しいテーマのミステリー・セミナーを設定します。	
6	3月14日(水)			

申し込み方法 講座名・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで9月26日(月)までに公民館へ。(応募多数のときは市民の方を優先のうえ抽選)

## 芦屋病院公開講座

今回の公開講座では、平成24年6月新病棟の完成を目指して、新しく生まれ変わる芦屋病院をテーマに、ドクター・看護師の方々から、最新の医療現場のお話し、役立つ情報をお伝えします。

時間 午後2時～3時30分 定員 60人 受講料 800円(6回分で)、1回だけ受講の方は200円

回	月日(曜)	場所	内容	講師
1	10月29日(土)	市民センター 401室	学校検尿と小児腎臓病	芦屋病院 小児科 医師 森田 拓氏
2	11月12日(土)		一家庭における注意点- 冬に流行する感染症対策	芦屋病院 感染管理認定看護師 中島 恵実氏
3	12月10日(土)		脳卒中あれこれ	池本脳神経クリニック 院長 池本 秀康氏
4	1月28日(土)		冬期の呼吸器感染症	芦屋病院 腫瘍内科 医師 古林 孝保氏
5	2月25日(土)		生活習慣病と食事	芦屋病院 栄養管理室 管理栄養士 澤田かおる氏 管理栄養士 河崎 香織氏
6	3月24日(土)		今年度を振り返って	芦屋病院病院長 金山 良男氏

申し込み方法 講座名・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで10月18日(火)、までに公民館へ。

# 芦屋大学公開講座 Part 7

## 東日本大震災と阪神・淡路大震災 ～復興と支援を考える～

時間 午前10時～11時30分 定員 60人 受講料 1,000円(4回分)

回	月日(曜)	場所	内容	講師
1	11月5日(土)	市民センター 401室	原子力と放射能を基礎から学ぶ	芦屋大学経営教育学科 教授 酒井 義之氏 教授 林 和夫氏
2	11月19日(土)		復興の経済 -企業の再生	芦屋大学経営教育学科 教授 政岡 勝治氏
3	11月26日(土)		国際的影響を考える -韓国から見た東日本大震災	芦屋大学国際コミュニケーション教育科 教授 金 世徳氏
4	12月3日(土)		震災と心のケア	芦屋大学客員教授 教授 早坂 三郎氏

申し込み方法 講座名・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで10月25日(火)までに公民館へ。

主催 公民館・芦屋大学(問い合わせは公民館へ TEL 35-0700)

## 幼稚園へ出かける幼児教育講座

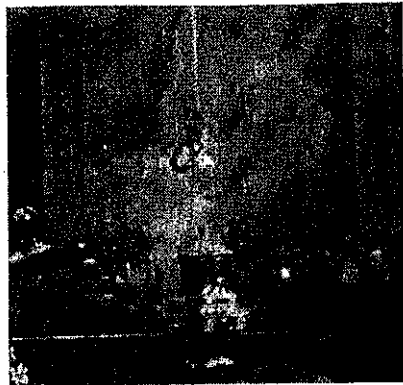
この講座は、各幼稚園の保護者の方が対象の講座です。一般の方は参加することが出来ません。

時間 午前9時30分～11時 受講料 無料 各幼稚園PTAと共催 会場 各幼稚園遊戯室

園名	日時(曜)	内容	講師
精道	11月22日 (火)	認めるだけで子どもは伸びる	KANSAI子ども研究所 所長 原坂 一郎氏
宮川	9月13日 (火)	子どもの発達と親子関係 -子どもの安心基地になるために	甲南大学文学部 准教授 北川 恵氏
岩園	10月25日 (火)	(仮題)?を育てる子育て	京都大学総合博物館 准教授 塩瀬 隆之氏
小槌	11月7日 (月)	子どもに言わせよう! お母さんの料理が一番と	元芦屋市立小学校 栄養教諭 徳満 広江氏
朝日ヶ丘	11月1日 (火)	乳幼児・児童期・生徒期の成長の流れ をみる -美術教育の視点から	関西学院大学教育学部 教授 清原 知二氏
西山	10月18日 (火)	子どもがもしものときの救急救命	芦屋市消防署 救急救命士
伊勢	11月17日 (木)	幼児の運動神経を伸ばす 楽しい運動遊び	NPO 法人アスロンスポーツ クラブ代表 井原 一久氏
潮見	10月20日 (木)	(仮題)?を育てる子育て	京都大学総合博物館 准教授 塩瀬 隆之氏
浜風	9月8日 (木)	子どもの思春期を見据えた子育て	NPO 法人マザーサポーター 理事長 喜田 菜穂子氏

## 公民館 文化セミナー

# 山歩きを楽しもう



スペイン・サンジャゴ大聖堂の香炉

公民館講座では、健康山歩き講座を始めて16年、毎年たくさんのハイキングのグループや、山歩きの友だちが来ています。今回の文化セミナーでは、講座から生まれた山歩きグループ「あけびの会」、発足10周年を迎えた「うりぼう会」の皆さんが講師になって、山歩きの楽しみ方を大いに語っていただきます。

**10月1日(土) 午前10時～11時30分**

**芦屋市民センター 301室**

### ■内容

- ① 「スイス・トレッキング」の楽しみ方
- ② 「うりぼう会」10年間の足跡をたどる
- ③ 「公民館講座」、とっておきのコースを紹介〈春・夏・秋・冬〉
- ④ 36日間、夫婦で歩いたサンチャゴ巡礼の旅

● 申し込みは不要です。直接会場にお越し下さい(先着60人・無料)

■主催 公民館 TEL 35-0700 協力 あけびの会・うりぼう会

## 東北地方太平洋沖地震災害義援金チャリティー「公民館事業」

# 詩と演劇と音楽を楽しもう

～表現の喜びと豊かな人生を～



楽しく、生き生きとした高齢期を迎えるためには、健康に心がけ、生き甲斐を持つことは大切なことです。色々なことに興味を持つことによって、人の輪が広がっていきます。

今回の「詩と演劇と音楽を楽しもう！」では、定年の節目に、すてきな詩集を刊行された、詩人・加代 敏氏をお招きし、「豊かな人生を過ごすための挑戦」などをお聞きし、あしやYO演劇グループが練習に練習を重ねて上演する演劇をお楽しみください。



藤島章子  
(ソプラノ)



あしやYO演劇グループ

**10月15日(土) 午後1時30分～3時**

**芦屋市民センター 音楽室**

### ■プログラム

- ① 演劇 「あかてぬぐいの奥さんと6人の仲間たち」
- ② 詩集「シップウドトウ」を刊行して思うこと 加代 敏氏
- ③ みんなで楽しく歌いましょう 歌唱指導 藤島章子さん  
♪ 浜辺の歌/村まつり…

● 参加料

300円(全額を義援金として、芦屋市を通じて被災地へ届けます)

● 申し込み方法

事業名・住所・氏名・電話番号・参加人数を記入のうえ、はがきかファックスで10月7日(金)までに公民館へ。(先着順で受付)

■主催 公民館 TEL 35-0700

## NHK公開セミナー 細川家の至宝



重要文化財 髪  
小林古徑

10月21日(金) 午後2時~3時30分

芦屋ルナ・ホール

テーマ <仮題> 細川家の至宝

講師 京都国立博物館 連携協力室長 山下 善也 氏

京都国立博物館で、10月8日から11月23日まで、特別展覧会「細川家の至宝」が開催されます。本展は、信長、ガラシヤや利休ゆかりの品々、そして当代随一の目利き・護立の蒐集した名品を一同に集めました。

NHK公開セミナーは、展覧会の企画担当である山下善也先生を講師にお招きし、この展覧会の魅力をわかりやすくお話いただきます。

● 申し込み方法

入場無料。入場には整理券が必要です。往復はがきに、①住所、②氏名、③電話番号、④参加希望人数(1名または2名)を記入のうえ、10月7日(金)までに公民館「NHK公開セミナー」係へ。

<あて先> 〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 公民館「NHK公開セミナー」係

■主催 芦屋市立公民館・NHK神戸放送局・NHKプラネット近畿

問い合わせ先 公民館 TEL 35-0700

## 展覧会開催記念セミナー 川西英コレクション収蔵記念展

### 予告記事



## 夢二とともに

12月14日(水) 午後2時~3時30分

芦屋ルナ・ホール

テーマ <仮題> 夢二像を探る

講師 京都国立近代美術館 (調整中)

本展覧会は、京都国立近代美術館で11月11日から12月25日まで開催されます。この知られざる1100余点から成り立つ本コレクションの中で、最も注目すべきは、初公開となる作品が含まれる竹久夢二の肉筆画6点をはじめ、《セノオ楽譜》の表紙絵、《どんたく絵本》といったほぼすべての装丁本など、コレクションの三分の一が竹久夢二の作品・資料であることです。多数の夢二作品が含まれたこの幻の<川西英コレクション>をとあして、「新たな夢二像」を探ります。

● 申し込み方法

入場無料。入場には整理券が必要です。往復はがきに、①住所、②氏名、③電話番号、④参加希望人数(1名または2名)を記入のうえ、12月1日(木)までに公民館「夢二とともに」係へ。

<あて先> 〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 公民館「夢二とともに」係

■主催 芦屋市立公民館・NHK神戸放送局・NHKプラネット近畿

問い合わせ先 公民館 TEL 35-0700



## 公民館・常設展示事業

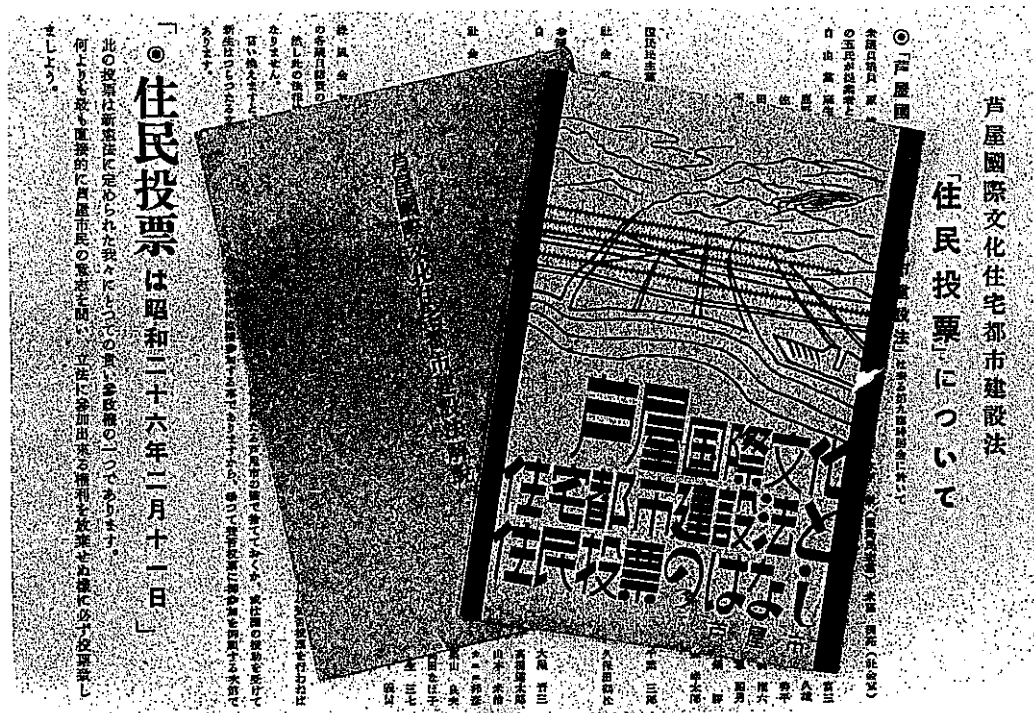
# 芦屋の100年

- 会期 9月14日(水)～10月3日(月)
- 会場 市民センター 3階 展示場
- 内容 秋の公民館講座「阪神地域の近代を読み解く-芦屋周辺の100年」に関連した展示事業として開催します。

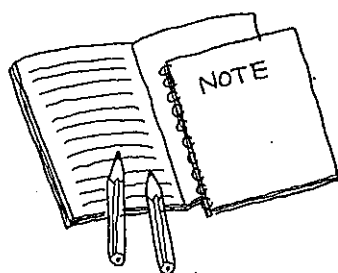
### 【展示のテーマ】

- ◇ 農村（漁村）の芦屋 … 〈明治〉
- ◇ 近現代の暮らし（住宅都市への発展） … 〈明治末～昭和前期〉
- ◇ 芦屋に残る戦争の跡 … 〈戦間期〉
- ◇ 国際文化住宅都市としての芦屋 … 〈昭和後期～平成〉

■主催 公民館・市生涯学習課（問い合わせ先 公民館 TEL 35-0700）



国際文化住宅都市建設法 昭和25年12月国会で可決され、住民投票を経て公布された。



公民館ですてきな出会いを…